

# 【小施策評価(平成29年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	企画調整課	
施策	29	都市間交流の促進	評価 責任者	太田 真	内線 3810
小施策	29-1	都市間交流の推進	評価 シート 作成者	藤澤 法輝	内線 3811

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
住民の日常生活圏や産業活動の広域化とともに、全国的に地域間競争が激しくなっていることから、日常生活圏を共通する盛岡広域圏や歴史・経済的に関係の深い沿岸地域などの連携を深めることによって、競争力のある産業の振興や生活の質の向上を図り、より住みよい地域を構築していく必要がある。 また、沿岸地域は東日本大震災からの復興が課題となっていることから、復興に向けて連携した取組を進める必要がある。		市民の生活の質の向上やまちの賑わいや魅力向上に資するため、友好都市等や経済・文化・歴史などの背景の異なるさまざまな都市・地域の人々との交流を促進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民 連携市町村		市民の生活文化の質が向上する。 都市間の連携した取組が活発になる。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標① 都市間交流を促進するための協定等の締結数		単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析
当初値 (H25)	4	件	↗		
H31目標値	4				
H36目標値	5				
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県うるま市と、友好都市盟約締結5周年を記念し、相互に交流を図った。</li> <li>・東京都文京区と今後の交流をさらに促進することを確認した。</li> <li>・平成・南部藩交流事業において、交流市町間の交流が行われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いわて・盛岡デー・イン・沖縄」や「ちゅらしま大沖縄展」の実施、さらには友好大使やうるま市の芸能団体のさんさ踊り参加により、両市民が物産の購入などを通じ、お互いの文化に触れる機会となった。</li> <li>・文京区長のさんさ踊り参加などを通じ、機会を捉え文京区と今後の交流促進について意見交換を行った。</li> <li>・構成市町の首長が一同に集まり、青森県南部町において平成・南部藩事業を通じた相互の取組等をPRした。</li> </ul>
				問 題 点	問題の要因分析
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民レベルでの交流がさらに促進されること。</li> <li>・うるま市や文京区、南部氏ゆかりの都市、また、その他の都市と様々な面で交流が促進され、賑わいにつながること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流機会の不足。</li> <li>・都市間交流の機会が、イベントへの参加など、限定的となっていること。</li> </ul>

## 今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆1 うるま市との交流について、交流の機会を増やすため、「いわて・盛岡デー・イン・沖縄」や「ちゅらしま大沖縄展」の際、さらに市民交流が促進されるような工夫をする。</li> <li>☆2 うるま市や文京区、函館市、あるいは南部氏ゆかりの市町など、既に交流のある都市との交流を深めるため、教育旅行の誘致促進や情報収集を進めるなど、都市間交流の裾野を広げ、市民レベルでの交流を促進する。</li> </ul>	